

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
地域福祉の理論と方法Ⅱ		必修 (社.精) 選択 (心)	2	2.3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
田中 結香	講師控室	kyoumu	Teams で随時受付		
授業の目的・概要	<p><目的>地域福祉の知識を獲得し、地域福祉の推進方法を学ぶことで、地域を基盤としたソーシャルワークの理論を総合的に理解することを目的とする。</p> <p><概要>教科書を中心に進めるが、順番が前後することもある。教科書に書かれている内容について、実際の現場での実践を例に説明したり、現場での写真や映像等も活用したりしながら内容をわかりやすくしていく。また、実践に即した課題も取り入れながら進めていく。</p>				
学習上の助言	<p>教員が説明するだけの一方通行の講義ではなく、内容に応じて演習やグループワークを取り入れた方法で講義を進めるため、学生の主体的な参加が必要となる。また、毎回課題を出すため、課題達成に向けた予習・復習することが望ましい。</p>				
教科書	新・社会福祉士養成講座 9 第 3 版 地域福祉の理論と方法/編:社会福祉士養成講座編集委員会/中央法規出版				
参考書	指定参考書なし				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	地域福祉の視点の持ち方・考え方について理解し、説明できる。			WP(1)、(2)、WP(6)	
②	他の講義と関連させ、地域福祉の概念に留まらずに知識を獲得していく。			HSU(2)、(3)、WP(3)	
③	演習を通じて、様々な人と協働する技術を身につける。			HSU(2)、(3)、WP(6)	
④	地域を基盤としたソーシャルワーク実践ができる力を身につける。			HSU(2)、(4)、WP(3)	
⑤	実際の現場でのソーシャルワーカーの実践について理解する。			HSU(2)	
⑥	国家試験の問題を確実に解答することができる。			HSU(2)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	「オリエンテーション」「前期の講義の振り返り①」 (講義概要・講義の進め方・評価方法等の説明をし、学生と重要事項の同意及び契約を行う) (地域福祉の基本的考え方について理解する。地域福祉の考え方を学び、重層的に地域を捉える力を身につける。)	同時双方向型授業	後期の範囲を確認する。自分なりの「地域福祉」の概念を説明できるようまとめておく。	4	
2	「前期の講義の振り返り②」 (地域福祉の考え方を学び、重層的に地域を捉える力を身につける。地域住民としての地域福祉推進の参加方法について学習する。)	同時双方向型授業	重層的な地域の概念を理解し、地域福祉推進の参加方法について、自身の地域でのあり方を調べておく。	8	
3					
4	「第 7 章 ソーシャルサポートネットワーク」 ソーシャルサポートネットワークの概念について学習する。事例を用いてサポート機能を考える。	同時双方向型授業	地域にあるソーシャルサポートについて調べておく。	4	
5	「第 8 章 地域における社会資源の活用・調整・開発」 社会資源について理解し、地域福祉における社会資源の開発の方法を学ぶ。	同時双方向型授業	自身の地域にある社会資源について調べておく。	4	
6	「第 9 章 地域における福祉ニーズの把握方法と実際」 地域福祉におけるアウトリーチの意義と方法について学習する。	同時双方向型授業	ニーズ把握やアウトリーチの方法について説明できるようにしておく。	4	
7	「第 9 章 地域における福祉ニーズの把握方法と実際」 質的および量的な福祉ニーズの把握方法を学ぶ。	同時双方向型授業	質的及び量的調査の方法を復習しておく。	4	
8	「第 10 章 地域トータルケアシステムの構築と実際」 地域包括ケアシステムを中心に、地域自立生活支援に向けた多職種連携やソーシャルワーク実践について学ぶ。また、ジェネラルソーシャルワークとの関連について理解する。	同時双方向型授業	地域包括ケアシステム・多職種連携の意義・ジェネラルソーシャルワークを説明できるようにしておく。	8	
9					
10	「第 11 章 地域における福祉サービスの評価方法と実際」 評価が必要な背景から評価の目的を理解する。	同時双方向型授業	措置と契約について説明できるようにしておく。	4	
11	「第 12 章 災害支援と地域福祉」 災害の事例からソーシャルワークを考える。	同時双方向型授業	災害時に必要なソーシャルワークの概念を確認する。	4	
12	「第 3 章 地域福祉の主体と福祉教育」 地域福祉推進に向けた住民主体から福祉教育の必要性を学ぶ。	同時双方向型授業	福祉教育とは何か説明できるようにしておく。	4	
13	地域住民に向けた福祉教育プログラムを開発する。	同時双方向型授業	各グループでプログラム開発に取り組める準備をしておく。	4	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

14	各グループで作成した福祉教育プログラムの発表会を実施する。	同時双方向型授業	グループごとに発表の準備をしておく。	4			
15	講義全体のまとめと試験対策及び意見交換を行う。	同時双方向型授業	わからない部分を明確にし、資料をすべてまとめておく。	4			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照する。						
達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		50	0	10	20	20	100
総合力指標	知識・技術力	40	0	0	0	0	40
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	2	0	0	2
	発表・表現伝達する力	0	0	2	0	0	2
	コミュニケーション力	0	0	2	0	0	2
	取組みの姿勢・意欲	0	0	2	10	10	22
	問題を発見・解決する力	0	0	2	10	10	22
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点			フィードバックの方法		
試験	①	✓	講義で学んだ知識を確認します。 試験では、講義中に説明した内容やテキスト及び配布資料から必ず出題します。		試験の答案用紙は返却しません。 希望者には点数をお伝えします。		
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤	✓					
	⑥	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①		講義のテーマに応じてグループワークを実施することがあります。 その際にワークへの取り組み状況やメンバーとの協調性、リーダーシップの発揮状況、発表者の発表内容等を見ていきます。		グループワーク時に司会・書記・発表等の役割を積極的に持った学生は加点をし、その場で確認をします。		
	②						
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
ポートフォリオ	①	✓	随時講義の感想を記載してもらいます。その内容からしっかりと講義内容が理解できているかや講義への積極性も確認します。毎回の感想用紙を自身でファイルし、自分自身の理解がどのように蓄積しているのか、内容を振り返っていきます。		毎回の感想に対して、コメントをして返却し、相互に理解を深めていきたいと思っています。		
	②	✓					
	③						
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
その他	①	✓	毎回講義のテーマに応じた課題を講義中に課題を出題します。その課題の取り組み状況や内容等を点数化して加点します。しっかりと課題に取り組んでいるかの姿勢や意欲を見ていきます。		質問事項や課題に対する回答について、必要な場合は次回の講義時に説明をしたり、メディアを使用し個別に回答します。		
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤	✓					
	⑥						
備 考							
<p>○Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。</p> <p>○今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得ます。</p> <p>○同時双方向型授業では講義中にフィードバックを行います。できない部分は個別に質問に返答する場合があります。</p> <p>○社会福祉士・精神保健福祉士取得希望者は必ず履修してください。</p> <p>○1年生で通常受講すべき講義、特に「相談援助の基盤と専門職Ⅰ・Ⅱ」知識や技術を修得しているものとみなして講義を進め、演習を行い、課題を提出してもらいます。</p> <p>教員の実務経験：社会福祉士資格取得後 18 年の実務経験。</p> <p>実践的授業の内容：教員が実際に現場で担当している事例等を用いながら（個人を特定できないよう加工修正）、教科書の理論について現場の実践内容を踏まえて説明し、実践と理論の循環を意識して進めていきます。実際の現場の動きを映像として見たり、現場で活用している様式を使用して、実践と同じ感覚で事例検討会や記録の方法を体験していただく予定です。</p>							